

3日目 戸塚—藤沢—平塚—大磯

11月7日(土) 8時半に戸塚駅をスタート、天候は晴れ。

戸塚宿 5番目

前回は雨でパスした妙秀寺に向かって逆もどり、途中の吉田大橋の欄干に広重の53次の浮世絵の4枚のパネルが飾られているが、その絵の中にある「左かまくら道」の道標がこの寺に現存しているのでその写真を取り、東海道を西へ再スタート。

吉田大橋のパネルの一つ



「澤邊本陣後の碑」

「左かまくら道」の道標



本陣などの宿場の遺構は何もなく、本陣跡を示す碑のみで、その碑も明治天皇行在所跡の碑と同じ場所にあった。

「お軽勘平」の碑



お軽勘平

「大坂」の地名のついた坂を上がっていくと、「お軽勘平」の碑がある。歌舞伎の仮名手本忠臣蔵の赤穂浪士早野勘平とお軽との道行きの碑とのこと。付近に浅間神社があり、これまでも道路際に複数の浅間神社を見ているが、関西では見たことがなく、関東地方に多い神社の様である。

遊行寺

更に歩いて藤沢、「おどり念仏時宗」の垂れ幕のある遊行寺で一休み。寺内に小栗判官・照手姫の墓があり写真、但し小栗判官とは何者か歴史に暗く不明(オグリキャップとは無関係?)。

小栗判官と 10 勇士の墓



照手姫の墓



藤沢宿 6 番目

東海道はこの寺の前で右折し、藤沢の市街地となる。

街中を歩いて「義経の首洗い井戸」で一服して写真。

説明には鎌倉での首実検のあとに捨てられた義経の首をこの地の人が拾って洗ったとのことで、近くには義経首塚もある。

義経首洗井戸



義経首塚



おしゃれ地蔵と東海道松林

藤沢市内を通り抜け、途中の坂道に「おしゃれ地蔵」があり、白粉と口紅を付けた地蔵がまつられ、化粧品のビンも置いてあって、女性の願い事なら何でもかなえる地蔵とのこと。

その先にメルシャンワインの建物があり、ゆるやかな坂を越え、そろそろ昼飯時。しかし付近にレストラン・食堂の類は全くなく、更に 30 分程歩いたところにやっと見つけたレストランの洋食ビストロで昼食は鱈のムニエル。

昼食休憩後に再開、付近の地名は茅ヶ崎、この当りは東海道の見事な松並木が残っている。

おしゃれ地蔵



茅ヶ崎の東海道松並木のパネル



交通渋滞で、横のトラックは交通信号の度に追い越して又追い抜かれを繰り返し、歩行とほぼ同じ速度。左富士で有名な場所の鳥井戸橋を過ぎるが、建物ごしに見える富士山は霞がかかっている輪郭がやっと分かる程度。

平塚宿 7 番目

相模川の馬入橋を渡り、平塚へ。平塚駅のカフェでコーヒーブレイク。

平塚宿は宿場の遺構は残っていないものの、跡地に碑と説明板があり、整備されている。

江戸見附(江戸側の入り口)跡



脇本陣跡



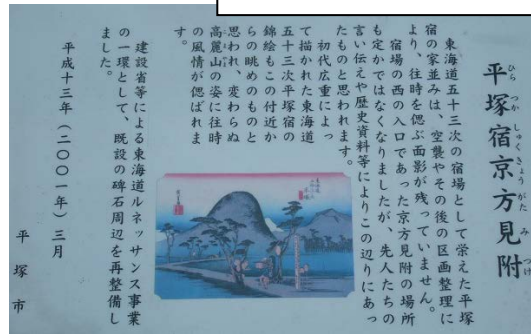
高麗山

高麗山のシルエット



播州皿屋敷のお菊さんは平塚宿役人の娘さんだ
 そうで、ガイドブックでは平塚駅のすぐそばにお
 菊塚があると書いてあり探し回ったが見つから
 ず。諦めて、高麗山を真正面に見て平塚の町を
 歩く。高麗山は広重の絵と同じで(当たり前)独
 特の形をしており分かり易い。既に時刻は3時を
 過ぎ、日は低くなり逆光となって高麗山の写真は
 シルエットのみ。

広重の高麗山の説明板



平塚消防署(分団)のシャッター



平塚見付を過ぎたあたりに面白い外観の消防署(分
 団)があり写真、ガレージのシャッターの絵となま
 こ壁がしゃれている。

花水橋を渡り、高麗山を右手に見ながら化粧坂を超
 え大磯へ、平塚一大磯間は短く1時間弱程度。
 大磯到着は4時頃、本日は4.8万歩を歩き、距離は
 約30Km。

足の裏の皮が厚くなったハズなのにかかるとにマメ、
 しかも両足の同じ位置！
 まだまだ修行が足りない。

3日目

